

平成30年度 学校自己評価表

次の質問について、A～Dの該当する欄に○印をつけて下さい。					
A：よくあてはまる		B：概ねあてはまる			
C：あまりあてはまらない		D：全くあてはまらない			
質 問 事 項		A	B	C	D
I 学校運営に関するもの					
1	<b>【安心安全な学び】</b> ①安全教育の推進 ②環境整備の推進 ③健康の保持増進 ④危機意識の高揚		○		
	<b>【学力の向上】</b> ①基礎学力の定着 ②授業力の向上 ③進路指導の充実 ④キャリア教育の推進 ⑤資格取得の推進		○		
	<b>【心と体を育てる】</b> ①基本的生活習慣の確立 ②人権尊重の推進 ③部活動及び生徒会活動の充実 ④読書活動の充実 ⑤主権者教育の推進 ⑥奉仕活動の推進		○		
	<b>【信頼される学校】</b> ①広報活動の充実 ②受検生の確保 ③家庭との連携 ④地域との連携 ⑤コンプライアンス ⑥人材の育成 ⑦働きやすく働きがいのある職場づくり		○		
<p>学校経営方針の大きな目標を、「授業に熱心」「部活に熱心」「資格に熱心」の3本柱とし、全職員・全生徒が「チーム都工」を合い言葉に、「未来を切り拓く、心豊かでたくましい人材の育成」を目指して、上記4つの項目を重点的に取り組んできた。</p> <p><b>【安心安全な学び】</b>            交通事故21件、骨折等の重大事故には至っていないが、車との接触は重体事故につながることを常に認識して生徒への中尉を呼び掛けている。事故状況は2学期の発生が多く、信号機のない交差点や左折もしくは右折時に車と自転車による接触事故が多く昨年同様事故数も横ばいである。            施設面では、全職員による安全点検を行い、不備な箇所について計画的に整備をしている。そのほか、生徒の課題研究では教室案内板の設置や通路のバリアフリー化のためにスロープの製作など生徒共に環境整備に努めた。</p>					

### 【学力の向上】

教員の授業力向上に努め、6月と11月に研究授業を行った。事後研修会において、教科学科の枠を超えて、授業について協議することが更なる教員のスキルアップにつながった。今年度は、「見る、聞く、書く、話す、考える」のバランスがよい授業を意識し、生徒が主体的に学ぶ授業づくりを今後も実践継続していく。そのほか先進校視察を行い、今後本校の参考にしていくための研修報告を行った。

資格取得においてジュニアマイスターゴールド25名、ジュニアマイスターシルバー23名であった。昨年と比較すると8名減少しているが一昨年度と比較すると9名増であり、年度よりばらつきが見て取れる。継続して、資格取得の意義をしっかりと説明して合格率向上に努めていきたい。

進路状況について今年度994社から求人票をいただいた。就職希望者のうち、第一希望の企業内定率は93.9%であり昨年度とほぼ横ばいであった。県内就職状況も25%であり、昨年度と同じであった。今年度は県内企業説明会など昨年度より多く実施していた。入学段階より明確な進路意識を持って入学する生徒が多く、依然として保護者本人の希望として県外就職が高い状況にある。また、公務員に8名、大学に26名であった。

### 【心と体を育てる】

人権学習の内容は、いじめ、ネット上のいじめ、偏見や差別、部落差別、進路保障に係る内容を各学年ごとに学期1回行った。いじめはどこでも起こりうることに認識して、迅速な対応を全職員でしていく。

運動系、文化系、技術系合わせて28の部そして1つの同好会が活動している。そのなかで、今年度も多くの部活動が県内各種大会において上位の成績を上げることができた。特に、自転車競技部所属の女子選手がインターハイにて日本高校記録を樹立しての優勝であった。吹奏楽部は福岡での九州スチューデントジャズフェスティバルにおいて6年連続高校部門1位を獲得している。化学技術部は、大淀川の水質検査を定期的に行っており、第4回全国ユース環境活動大会九州大会優秀賞を獲得した。

### 【信頼される学校】

都工新聞（学校PR新聞）を5回発行して都城、三股地区の中学校に配布してきた。内容は、資格取得、部活動の活動状況、進路状況など本校の学校生活の様子が伝わるコンセプトで構成しており、「中学生が行きたい、保護者が行かせたい」を意識した紙面作りを行っている。また、4中学校、1小学校における出前授業は毎年好評である。

地域活動の貢献では、「ふれあい五十市文化祭」への参加。西都城駅イルミネーション設置を行っている。特に、イベントにおいて吹奏楽部は、質の高い地域での演奏会を行っている。

関係団体との連携として警察機関を利用した交通教室、共生をテーマに人権教育、選挙管理委員会からの主権者教育の研修など実施した。